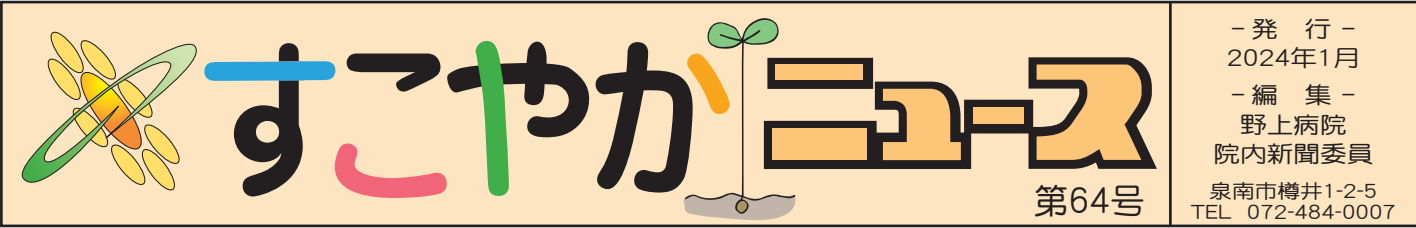


		月	火	水	木	金	土
総合診療科	9:00～12:00	中尾	中尾(第1・2・4・5週) 14:00～17:00	中尾			中尾
内科	9:00～12:00	玉置・土井	山崎・土井	西	玉置・浜崎 井上 ※第2・4週	玉置・土井	山崎
	13:00～16:00						
	14:00～16:00			西			
	14:00～17:00	浜崎	玉置・浜崎	浜崎・福本	武田(第1・3週) 土井・大野	浜崎	
糖尿病内科	9:00～12:00	土井	土井			土井	
	14:00～17:00				土井		
循環器内科	14:00～17:00		黒井 ※受付16:30まで				
呼吸器内科	17:30～19:30	加藤(第1週) ※完全予約制		加藤(第2・3・4・5週) ※完全予約制			
外科 消化器外科	9:00～12:00	金川	小畑	野上(浩)	金川・野木	野上(浩)	小畑
	10:00～12:00			野木			
	14:00～16:00					小畑	
	14:00～17:00		金川	種村(第2・4週) 15:00～17:00		野上(浩)(第1週) 16:00～17:00	
肛門科	9:00～12:00	金川			金川		
	14:00～17:00		金川				
プラセンタ	9:00～12:00	金川			金川		
	14:00～17:00		金川				
ペインクリニック外科	9:00～12:00		奥野※完全予約制 ※麻酔前診察(奥野)		※麻酔前診察(奥野)	※麻酔前診察(奥野)	
眼科	9:00～12:00	戒田 内田(9:30～12:00) 内田(14:00～15:30) 戒田(14:00～17:00)	戒田	戒田	戒田	戒田	日赤
	14:00～17:00			戒田			
耳鼻いんこう科	9:00～12:00		横山	横山	森中 (第1・3・4・5週) 横山(第2週) ※受付11:30まで	箕輪 (第1・3・4・5週) 横山 (第2・4週)	横山(第1・3週) 箕輪(第2週) 福田(第4・5週)
	14:00～16:30	箕輪					
めまい外来	14:00～16:30				横山(第2・4週)		
皮膚科	9:00～11:30	田堀(第1週) 原(第2・4・5週) 今居(第3週) (9:00～11:00)				瀧脇 (9:00～11:00)	坂本(第1週) 酒井(第2週) 瀧脇(第3週) 加山(第4週) 三谷(第5週)
泌尿器科	9:00～12:00		森	上門 ※受付11:00まで	森	森	上門(第1・3週) ※受付11:00まで
	10:00～17:00	若宮 10:00～12:00		森 14:00～17:00			
脳神経外科	9:30～12:00						出原(第1・2週) 下岡(第3週) 石田(第4週)
	14:00～17:00			藪内			
リウマチ科	14:00～16:00	西村(第1・2・5週)					
リハビリテーション科	9:00～12:00	当日担当医	中尾	土井	平野	小畑	玉置

専門外来 ※予約制※診察時間等 変更等もありますので、 ご確認下さい。	糖尿病	甲状腺	肝臓	膠原病・人工透析	炎症性腸疾患	禁煙	 ←最新の 外来診療表は QRコードより ご確認ください
	土井・西 【内科】	西 【内科】	武田 【内科】	大野 【内科】	井上 【内科】	野上(浩) 【外科・消化器外科】	

		月	火	水	木	金	土
整形外科	9:00～12:00	野上倫昭 野上雅史・東	西村 装具 野上倫昭	野上倫昭 西村	野上雅史	野上倫昭 東	宮本 東(第2・4週)
	17:00～19:00	野上雅史					
手の外科・形成外科	9:00～12:00						宮本
内科	9:00～12:00					大野 (プール検診)	
	16:30～19:00	大野				大野	
リハビリ	9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
	14:00～15:30	物療	物療	物療	物療	物療	



2024年度

年頭所感

新年明けましておめでとうございます。本年の干支は辰です。「漢書 律曆志」によると、辰は「ふるう、ととのう」を意味する「振」で、陽気が動いて万物が振動し、草木も盛んに成長して形が整った状態を表すとされています。辰年の人は先見の明があり、スケールの大きな夢を持っているとされています。

野上病院も新病院になってから今年4月で早くも7年目になります。さらに成長して患者様のため、地域医療のために安全安心で質の高い医療をめざしていきたいと考えています。このような立派な新病院を建設できたのも、クリニックと連携しながら、先代の理事長であった父の尽力と職員の皆様のご協力があったからこそと感謝しています。

昨年度は手術件数も増加、全身麻酔の件数も大幅に増加し、昨年11月で350症例を超えました。特に耳鼻咽喉科においては大幅な増収となり、横山先生を始めとして全職員の皆様に深く感謝しています。病院経営は少しずつ改善しつつあり、後2年たつと経営は安定すると予想しています。水に投げた小石の跡がとめどなく輪を広げるように、皆さまのご協力の輪が広がっているのを実感しています。

最近、盛んにDxについて議論が進んでいます。DxはDigitalTransformationの略でデジタル技術を社会に浸透させ、人々の生活をより良いものに変革することを指します。医療、介護においては、電子カルテや多職種連携ソフト、手術のナビゲーションシステムやリハビリロボットなどが導入され、よりスピーディーで効率的かつ精密な仕事ができるようになっています。

一方で人間味、人の温かさが欠けてきているように思われます。例えば、診察中「先生、電カル画面ばかり見ないで私の顔も見てくださいよ」などは日常茶飯事です。対策として、音声入力や医療クラークさんの適切な入力介助などを通じて、医師患者のコミュニケーションを増進させることも可能です。そこで今年の指針は「人にやさしいDxの実現」とさせていただきます。これはすべての職員に共通の課題と考えます。

最後になりましたが、本年が皆様にとって最良の年になるように祈願しています。



理事長
野上 浩實



患者様の視点で向き合うということ

私が心掛けていること

のがみ泉州リハビリテーションクリニック
理事長 / 野上倫昭 (ともあき)



あけましておめでとうございます。
本季刊誌を御拝読いただいております皆様方に新年のご挨拶を申し上げます。

野上病院の創設者、父、耕太郎の晩年は絵を描くことを趣とし、当医療グループの施設に多数掲げられており、絵を眺める患者様から心とお話をいただくと、何物にも代えがたい、形にはならない大切なココロを置いていってくれたのだなと、あったかな気持ちになります。

私事になりますが、脳神経の難病を患い、5年の月日が流れました。進行の速い遅いはありますが、当初、行く末を知るが故のココロは言葉にできない想いに満ちました。しかしながら、この事により医療従事者としてのあべき姿をふたたび考えるきっかけとなり、診療に向かう教えを授かったものと思っています。

患者様にはご本人にしかわからない気持ち、知り得ることのない感覚があって、私自身の抱える苦痛をもとに自らの感性を尽くしてわかっていても、その苦しみや感覚を十分に知り、理解するには至りません。そこには「当事者にしかわからない気持ちと感覚」が横たわっているものと思います。人の心という難しい領域にとって救いがあるとすれば、手を取り、前を向き、今を確かめ、共に考え、共に悩み、共に苦しみ、共に進むべき道を探しているという実感を共有することが必要になると思います。差し伸べられたぬくもりは、それぞれの心の中で、心強さや安堵となり、互いに救われる力になると思います。言葉のひとつひとつには大切な想いが息づきます。

「幸せとはいったい何か」。それは普通である事のように思います。誰かの役に立てることが少しでも叶えば、それはこの上なく幸せな事だと思います。しかし、現実には、心身の問題でそういった道すら閉ざされてしまった方もおられます。それでも、これだけはお伝えさせていただきたいと思うことがあります。身近な人達がひとりの人の存在により、心をひとつにまとめられていると感じることがよくあります。それは、どのような状況においても、その人が誰かの心の支えになっているということだだと思います。「人は生きていること以上に生かされている」ということに心すべきではないでしょうか。

注意を払いたいことは、無私の下、どれだけ心を砕いて患者様に向き合っているか、まずは自らの胸に手を当てて確かめます。患者様にとって最善の医療が享受できるよう、特に専門領域が確立されている治療分野に関しては、外部の専門組織での治療を優先し、ご紹介させていただきたいと考えています。心落ち着けて最善の治療が受けられる道案内も、医療に携わる者の大切な役割と心するところです。

私は自らの達成感のために仕事を遂行することはあってはならないと考えています。万が一の場合にも、これで良かったと思える道を歩んでいただくことは、ご本人に限らずご家族様にも心安らぐ道となるにちがいありません。私は整形外科医、リハビリテーション医として40年間医療に携わってまいりました。そして、自ら病を患い、医療を施していただく側になったことで、より一層に感じた医療を施す側の責務とあべき姿を記させていただきました。

また、私共のクリニックでは、透析医療にも力を入れております。大野院長主導の元、人間味溢れる透析室の一日一日には、リハビリテーション施設と同様、心温まるものが息づいています。

「今年も診療に携われることに感謝し、患者様のより良い医療の享受と心の尊厳が守られますように」と、願ってなりません。

月曜の朝

月曜日の朝、私は診察室に向かう
自分の気配が消えて、あなたの気持ちに近づくと
あなたの言葉が元気になって、今日がいい日になるような
そんな気持ちがやってくる
そしたら心はぬくもって、
「こちらこそ、ありがとう」って、そんな気持ちにさせられる
あなたの笑顔を探しては、
今出来る、ほんの少しのすべてができればいいな

篠了平こと 野上倫昭

おくすりの使用期限について



一般に、おくすりは、未開封の状態だと、製造してから3～5年程度は効き目が変わらずに使えるように、品質を確認する試験をおこなっています。

ドラッグストア等で購入できる一般用医薬品の場合、外箱に使用期限が記載されています。塗り薬や目薬などの外用薬では、おくすり本体の表面に使用期限が記載されているものもあります。外箱は捨てずに最後までお薬と一緒に保管しましょう。

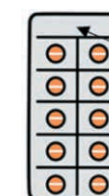
病院で処方されたおくすり、または薬局で調剤されたおくすり(医療用医薬品)にも使用期限があります。一般用医薬品と同様、塗り薬などの外用薬についてはおくすり本体に記載がある物が多く、内用薬ではごく一部の錠剤などでシートに記載がある物もありますが、ほとんどはロット番号(記号)のみの記載です。ロット番号をもとに病院や調剤薬局で調べることができますので、伺ってみて下さい。

ただし、病院などで処方された医療用医薬品は、その時のあなたの症状に合ったおくすりです。したがって、のみ忘れなどで残った場合でも、あとで同じような症状の時に使ったり、他の人にすすめたりしてはいけません。かえって体調を悪化させる原因にもなりえます。残ったおくすりは処分しましょう(保険薬局で処分してもらえますよ)。また、残ったおくすりを人にあげたり、人からもらったりすることも絶対にやめましょう。

内用薬の一例



使用期限を調べられない

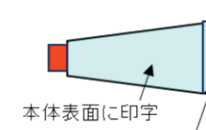


ロット番号が表記

外用薬の一例



混合や小分けしたものは困難



本体表面に印字
又は使用期限や
ロット番号が刻印表記